

集まれ!

グラントの泉

2024年度食創会 「第29回安藤百福賞」募集

公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団の食文化振興事業を担う『食創会』（会長：小泉純一郎元内閣総理大臣）では、食科学の振興ならびに新しい食品の開発に貢献する独創的な基礎研究、食品開発、およびベンチャーを対象とした「安藤百福賞」表彰事業を行っています。

『食創会』の創設は、日清食品の創業者で、安藤財団の創設者である、安藤百福の提唱によるものです。

2024年度も下記のとおり「第29回安藤百福賞」受賞候補者を募集し、「大賞」「優秀賞」ならびに「発明発見奨励賞」の表彰を行いますので、ご応募ご推薦を賜りますようお願い申し上げます。

食創会設立の趣旨

人類が到達したすばらしい文明・文化は、人類の限りない創造的精神によって生み出されました。21世紀を越えて、繁栄を持続するためには、これからも発明・発見の意欲をさらに高揚していく必要があります。とくに、人類生存の根源である“食”について、より緊急を要する課題であり、私たちが『食創会』設立を提唱するゆえんであります。

人口の急増、地球環境の悪化を背景に、食糧危機が予測される今、私たちは英知を集め、食品産業に独創的な技術革新の波を起こしていかなければなりません。基礎技術をしっかりと固め、バイオテクノロジーなどのあらゆる先端技術を駆使して、新しい食品、生産・加工の技術を生み出し、かつて敗戦の焦土から発想された即席めん産業が世界に伝播していったように、この日本から世界に向けて発信していくべきではないでしょうか。

埋もれたアイデアが、身近に眠っているかも知れません。世の中に渴望されながら、手が届かず開発・発明が待たれている技術もあるでしょう。

『食創会』は、食品産業の発展を図り、人類の繁栄に寄与するため、知恵を掘り起こし、知的財産を尊重する環境を整え、ベンチャー・スピリットを支援していきます。（1996年6月設立）

1. 主催

公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団

2. 後援

文部科学省、農林水産省

3. 受賞対象者

- 食に関わる次の分野における研究者、開発者、およびベンチャーエンtrepreneur起業家（原則として個人）を受賞対象者とします。
- ・食科学の振興に貢献する者：食の発展に繋がる独創的かつ将来性豊かな学術的基礎研究を実施した者
 - ・新しい食品の創造・開発に貢献する者：独創的な技術開発または発想により新しい食品や市場を創造した者、または新しい食品の創造に繋がる新規の食品加工技術、分析技術などを発明した者
 - ・食に関わるベンチャーを起業した者：独創的な食品や食品加工技術、分析技術、流通システムなどを開発し、ベンチャーを起業した者

4. 表彰種別ならびに副賞（賞金）

- ・大 賞（副賞1,000万円）／全応募者の中から原則1件以内
- ・優 秀 賞（副賞 200万円）／全応募者の中から原則3件以内
- ・発明発見奨励賞（副賞 100万円）／全応募者の中から原則3件以内

全応募者の中から優秀と認められた方に「優秀賞」、とくに優秀と認められた方に「大賞」を贈呈します。「発明発見奨励賞」は、大学などの公共研究機関に所属し、食品の基礎研究や食品開発研究に携わる若い研究者、開発者ならびに大きな組織に頼らずに独自の研究、開発を進めている方（中小企業の技術者など）を受賞対象者とし、とくに将来性の高い優秀な研究や開発を実施している方に贈られます。対象の適否は、審査委員会ならびに食創会役員会で判断させていただきます。

5. 選考基準

- ・基礎研究としてインパクトのあるもの
- ・科学技術の世界や社会一般へ強い影響力があるもの
- ・驚きの気持ちを引き起こすような斬新で独創的なもの
- ・特許申請、論文著書など、知的財産としての価値があるもの
- ・食育推進への貢献度が高いもの

6. 応募期限（締切）

2024年9月末日到着分まで

7. 応募書類の送付先・問合せ先

公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団内『食創会』事務局

〒563-0041 大阪府池田市満寿美町8番25号

TEL. 072-752-4335 E-mail: info-foundation@ando-zaidan.jp

☞ <http://www.ando-zaidan.jp/>

食創会役員

会長 小泉純一郎	元内閣総理大臣
副会長 河村 建夫	元内閣官房長官
荒井 寿光	元特許庁長官
役員 安藤 宏基	公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団 理事長
荒川 隆	一般財団法人食品産業センター 理事長
石毛 直道	国立民族学博物館 名誉教授
熊谷日登美	日本大学 生物資源科学部 教授
鈴木 一永	日本弁理士会 会長
竹下 景子	国連WFP協会 親善大使、俳優
松井 利郎	公益社団法人日本食品科学工学会 会長

(2024年6月現在/敬称略)